

ふるさと探訪

第42回 下津池・風透



国道11号の加茂川橋から国道194号を高知方面へ約8キロメートル行くと、下津池

の集落があります。集落の下には、清らかな流れの谷川があり、そこに架かる止呂橋から見る止呂峡の渓谷美は非常に美しく、秋の紅葉や新緑のシーズンには多くの人が訪れています。

また、集落の上部には今も耕作されている棚田があります。見事な石垣に先人の苦勞が偲ばれるとともに、周辺には地藏堂や廃校になった下津池小学校の講堂も残っており、山里の素晴らしい景観が今も見られます。

下津池の上には、風透の集落があります。この集落の上部には、夏は涼しく冬は暖か



▲ 止呂峡の紅葉
(18年11月21日撮影)



春の下津池の棚田▶
(19年5月3日撮影)

い風を出す大小2つの風穴があります。夏は非常に冷たい風が出るので、休憩場所には最適で、テレビでも紹介されました。この風穴は止呂峡から続いているとの言い伝えがあり、この風穴や止呂峡を舞台に「薄雲姫」の恋物語の伝説が口頭伝承されてきました。(伝承内容は、西条市生活文化誌に掲載)

秋の行楽シーズン、綺麗な景色とロマンを求め、散策に出かけてみてはいかがでしょうか。

